



自然には不思議や感動がいっぱい

好奇心旺盛な子どもの時にこそ、自然の中での活動の機会を増やしましょう。
幼児期・低学年期の気つきや感動は子どもの心をはぐくむ大事な栄養です。

野山で楽しもう

近くの野山を歩こう

季節ごとに近くの野山を歩いてみましょう。同じ場所でも季節が違つと姿も変わり、子どもの成長によって見方や感じ方がそれぞれ異なり、五感を使って新たな発見ができます。



雪中ハイキング
沢のぼり

感動を共有しよう

草花、昆虫、石などの色や形、匂い、音などに興味を持つ「すこーい」「きれい」「何で...?」子どもは感動します。「本当にすこーい」「不思議だね」「何でだろう?」子どもと感動を共にしましょう。



この鳥は、変わった形の鳥か、変わった鳥か、不思議な形だね



落ち葉のシャワー

野山を歩く安全のために

長そで、長入ボン、歩きやすい靴で

これはお父さん、お母さんも同じ。軍手は状況に合わせて使いましょ。ただし子どもにはサイズの合ったものを。また、着替えを用意して、自然の中で存分に活動できるようにしましょ。

トモ状のものを身につけない

水筒はたすきにつけて脇にはさむように。首にかけて前にさげると、転んで顔を強打します。また、パーカーなどヒモが出ている服は枝などに引っ掛かるので、身につけないようにしましょう。



パーカーやスポンのすそなどヒモが出ている服

見守る姿勢を大切に

多少のすり傷切り傷をつくることもあるでしょうが、本当に危険な時を除いて、見守ることを大切に子ども自身に判断させ、行動させましょ。



ほつちゃん、この先の分かれ道、この道はどちらに進むべきか...



ロッククライミング

草花遊びなどのイベントがいっぱいの本をプレゼント

「ここに紹介する本には草花や竹紙など、身近な素材を使って遊ぶヒントがいっぱい。作り方がイラスト入りで紹介され、子どもと一緒に楽しめます。各3名にプレゼント。お名前(住所、電話番号)ご希望の本を明記し、ハガキで左記に応募ください。本号の感想も書きたいですね。

富山県児童クラブ連合会編 『作って遊ぼう』 (竹ざく・紙ざく・草花遊びセット)
小林正明著
親子で楽しむ四季の草花遊び
9月15日 締め切りは



アドバイスをいただいた方
国立山青少年自然の家 深山慶太先生
主任企画指導専門職



わくわく・どきどきの自然体験がいっぱい

公民館子ども自然体験事業の紹介

公民館の自然体験活動は、漁師さんや農家、自然解説員などの協力も得て行われています。子どもたちの心をときめかせた春の活動を紹介します。

待ちましょ

何かに関心をもってじっと見ている時は、せかさずに待ちましょ。想像力がたくましく働いている時です。自分の遊びを工夫し始めた時や、その遊びに熱中している時もしっかり待ちましょ。そして、一緒に楽しむ気持ちが大切ですね。



水中の生き物を見つけて

南砺市福光公民館 桑山たんけん

5月9日



石切り場跡を発見して記念の机打ち



トロッコの車輪?発見

福光地域の17名の子もが父母とともに参加。桑山では昔、石の切り出しが行われており、その跡地を探しながら山を登りました。頂上付近で、枯れ葉の下から金属の棒が出ているのを発見。枯れ葉を除くと、トロッコの車輪のようなものが出て皆びっくり。トロッコで石を運んでいたのでしょうか。松本明也君(福光中部小1年)は、「鉄のタイヤを見た時、トロッコ遊園地があったのかと思った」と目をまじまじと見ていました。

氷見市女良公民館 蛇が島植物調査

5月25日



高正一郎公民館長から説明を受けて



ハマウド、エソヒナノウスツボの調査

蛇が島は、南方系植物のハマウドと北方系のエソヒナノウスツボが共存する珍しい島。船で蛇が島にわたると、女良小学校の児童14名が6年ぶりに、分布の状況調査に加わった。寺崎昌海君(6年)、北鹿渡義嗣君(6年)はハマウドが増えているみたい。環境が変わったのかなと語ってくれました。

富山市立朝日公民館 田植え体験

5月31日



息を合わせて押した「ころがし」



田植えって楽しい!

朝日小学校の児童14名が、農家の協力を得て田植え体験しました。「ころがし」で苗を植える場所に印をつけた平井愛美さん(5年)は、「だんだん転がすタイミングがつかめた」と満足。苗を植えた寺崎佐和子さん(5年)も、「今度はカマの使い方を教えてもらって、稲刈りしたい」と秋の収穫に意欲を見せていました。収穫祭では、餅つきも予定しています。

魚津市経田公民館 地引網&魚津港めぐり

6月12日



30分ほど網を引いて



「さわってみようかな...」

38名の親子(子ども23名)が力を合わせて網を引くと、ハヤコチ、フナ、カレイなどがとれました。その後、経田港から魚津港までの往復約40分を、潮風を受けながら漁船に乗りました。朝野菜月さん(経田小2年)は、「ハケツの中で魚がはねてこわかった。でも、海の上では風が気持ちよかったです。機会があればまた参加したい様子でした。」

県内80カ所の公民館では、この他にも自然体験事業を計画しています。詳しくは富山県公民館連合会にお問い合わせください。
TEL:076-444-5777



毎月第3日曜日は家庭の日

ポロイスカウト、ガールスカウトの元気もりもり森林体験

ガールスカウト富山市協議会では、秋にトヨタ白川郷自然学校でキャンプを行い、山林に入つて間伐体験をしました。参加児童40名。またポロイスカウト富山第14回ビーバー隊では、呉羽青年自然の家でオリエンテーリングを実施(参加児童6名)。ビーバー隊の大野陽平くん(芝園小1年)は、「地図を見ながら森を歩くのは楽しい」と笑顔を見せていました。

ノコギリの使い方を教えてもらって行ったガールスカウトの間伐体験

木にかかっているフダを探し、木の特徴を記入しながら森を巡ったビーバー隊のオリエンテーリング

とやまのふれあいスポット 東福寺野自然公園

標高300mの高台に広がる緑豊かな公園。芝生広場、大型複合遊具、ふわふわドーム、SLハウスやバーベキュー広場などがある。家族そろって楽しめます。

住所 ●滑川市東福寺野字不水掛41
開園期間 ●3月15日~12月15日(冬期は休園) (SLハウスは4月1日~11月30日)
開園時間 ●9:00~17:00(夏休み中は18:00まで)
入園料 ●一般210円、小中生150円、幼児50円 (SLハウス、バーベキューの利用には事前予約必要。利用内容によって料金が違います)
TEL ●076-474-1141(青少年婦人研修センター)

一緒につくって一緒に遊ぼう!

簡単材料で楽しい手作りおもちゃが完成。「わあーすこーい」と子どもはニコニコ。

ジャンボシャボン玉

クリーニングの針金ハンガー(小)、アクリル糸(並太で約9m、ガーゼの包帯や細く切った古タオル代用可)、台所洗剤、水(沸騰させて冷ましたもの)、合成洗濯ソリ(PVA)、砂糖、洗面器、はさみ

作り方・遊び方

- ハンガーのフックを90度くらい起こし、形を丸く整える。糸を針金に結びぐるぐる巻いていく。糸に隙間ができないようにしっかりと二重に巻き、最後はきつく結び。飛び出した端はハサミで切る。
- 洗剤1、水8、ソリ5、砂糖0.5の割合で、洗面器でシャボン玉液をつくる。泡立てないように静かに溶かすのがポイント。

前日に液を用意するもgood

手首を洗って玉をつくるコツをお子さんに教えてあげてね。

●あまり風のない所で遊ぼう。フラスコを応用すると、人が入る巨大シャボン玉もできるよ。
●残った液は、シャボン玉液として数日は使えます。また鍋を洗うのにも使えます。ムダにしないね。

(社)富山県児童クラブ連合会では、手づくりおもちゃの指導に伺います。お気軽にお問い合わせください。(費用は材料費のみ負担をお願いします) TEL:076-439-8555 http://www.fitweb.or.jp/tcca/